

Claudia Visca クラウディア・ヴィスカ (Sop.)

ニューヨーク生まれのソプラノ歌手クラウディア・ヴィスカは、フィラデルフィアの名門カーティス音楽院を卒業し、アンナ・モッフォの師であるエウフェミア・ジャンニーニに師事した。フルブライト奨学金を得てウィーン音楽大学に入学し、KS ヒルデ・ロッセル＝マイダンとアントン・デルモータの指導の下で教育を修了した。

クラウディア・ヴィスカは、長い舞台キャリアの中で、アムステルダム、ベルリン、ケルン、ジュネーブ、ミュンヘン、ウィーン、チューリッヒなど、ヨーロッパの 25 以上のオペラハウスに客演している。2,000 回を超える公演で、オペラ、オペレッタ、ミュージカル、コンサートで 75 以上の役を演じた。クラウディア・ヴィスカは、ユージン・オーマンディ、グスタフ・キューーン、イシュトヴァーン・ケルテス、ミゲル・ゴメス＝マルティネス、シャーンドル・ヴェーグ、ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス、ピナ・バウシュ、クリスティーネ・ミエリッツ、マルセル・プラヴィ、ブルーノ・カニーノ、ルドルフ・ゼルキン、グアルネリ四重奏団のメンバー、エディット・マティス、アグネス・バルツァ、プラシド・ドミンゴなど、著名な指揮者、舞台監督、アーティストと共演している。クラウディア・ヴィスカのキャリアのハイライトは、作曲家レナード・バーンスタインの指揮によるウエストサイド物語のマリア役を歌ったことである。

2000 年から 2003 年まで、クラウディア・ヴィスカはケルン音楽大学の声楽教授を務めた。2003 年にはウィーン音楽大学の教授に就任した。ヴィスカ教授は、オーストラリア、オーストリア、ブルガリア、中国、チェコ共和国、イギリス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、イタリア、日本、ノルウェー、ポーランド、セルビア、アメリカで声楽技術と解釈のマスタークラスを開講している。彼女の教え子たちは国際コンクールで優勝し、アムステルダム、バルセロナ、ベルリン、ボローニャ、ジュネーブ、ハンブルク、ロンドン、マドリード、モスクワ、ミュンヘン、パリ、プラハ、ウィーン、ワルシャワなど、世界中の主要なオペラハウスで活躍している。